

包装タイムス

THE HOSO TIMES



ホール棟の1階に設置され、多くの市民が訪れて撮影を楽しむなど話題を呼んだ。

BIGBAGは、高さ3.225m、幅2.5m、奥行1.5mの巨大な紙袋は、部品の製作から最終組み立てまで、骨組みの製作や紙の継ぎ貼りなどは全て、喜多方工場内で手作りで完成させた。

同社の喜多方工場は、部品の製作から最終組み立てまで、骨組みの製作や紙の継ぎ貼りなどは全て、喜多方工場内で手作りで完成させた。

市役所に巨大紙袋を展示

ニューロング工業

喜多方市の地元産業をPR

ニューロング工業（NLI、東京都葛飾区、☎03・3603・2251）は、福島県の喜多方市役所に、フォトスポット用の巨大な紙袋のオブジェ「BIGBAG」を設置した。同市に製袋機の工場を置く産業機械メーカーとして、地元の人たちにより広く知ってもらい、地域のものづくりに目を向けようとするのが目的。1月31日から2月14日までの期間限定で市役所

で、通常サイズの紙袋と比べて800倍以上の容量を持つ。白地の袋表面には、同社のイメージマーク「WE ♥ NLI」を印刷し、同社のブランドと親しみやすさな



全て手作りという高さ3mの巨大紙袋

同社は、今後も、地域との連携を深め、ものづくりの魅力を発信していく考えだ。

喜多方市産業部商工課の協力を得て、「世界一?大きな紙袋」BIGBAGと写真撮影の様子をインスタグラム「@nli269_jp」で公開するなど、SNSを活用した情報発信に力を入れた。同社の長健人専務

は、「(地域の人たちに)喜多方製の製袋機で作られた紙袋が、広く世界中の人々の生活を支えていることを知って、誇りに持ってもらいたい。そしていつか、喜多方が『紙袋のふるさと』と呼ばれるようになれば」と期待する。設置にあたり、搬入の

出所：包装タイムス No.3161 1面

令和7年3月3日

発行所：日報ビジネス株式会社